

※回答はこちらの QR コード
よりお願いします。



視力検査問診票

お子さんの名前		男・女	令和	年	月	日生
住 所	小牧市		電 話			
検 査 実 施 日	令和 年 月 日 (検査実施日現在の年齢: 歳 か月)					

<アンケート>

お子さんについて、当てはまるところを○で囲んでください。

- 1 目が寄ることがありますか。 いいえ ・ はい
- 2 目が外や上にずれることがありますか。 いいえ ・ はい
- 3 テレビを見るときに、離れると見にくいようですか。 いいえ ・ はい
- 4 ものを見るとき、次のような様子をしますか。
 - ア 顔をしかめたり、目を細めて見る。 いいえ ・ はい
 - イ 顔を傾けて見る。 いいえ ・ はい
 - ウ 顔を回して、横目で見る。 いいえ ・ はい
 - エ あごをひいたり、あげたりして見る。 いいえ ・ はい
- 5 明るい戸外で片目をつぶりますか。 いいえ ・ はい
- 6 まぶたが下がっていますか。 いいえ ・ はい
- 7 じっと見ているときに、目が揺れていますか。 いいえ ・ はい
- 8 瞳（黒目の中央）が白っぽく見えることがありますか。 いいえ ・ はい
- 9 黒目の大きさが左右でちがいますか。 いいえ ・ はい
- 10 その他、目について心配なことがありますか。 いいえ ・ はい
 あればお書きください。
 ()

<視力検査の結果>

※ご家庭で検査をしてください

- 1 視力検査をしましたか。 はい ・ いいえ
- 2 検査の方法を理解して検査ができましたか。 はい ・ いいえ
- 3 小さい輪の切れ目が両目で見えましたが。 はい ・ いいえ
- 4 小さい輪の切れ目が右目で見えましたが。 はい ・ いいえ
- 5 小さい輪の切れ目が左目で見えましたが。 はい ・ いいえ

目の検査のご案内

～3歳で目の検査をしなければいけないワケ～

お子さんの目は生まれてからだいたい6歳くらいまでに、どんどん発達しておとな並みの視力になります。3歳くらいのお子さんの視力は0.5～1.0くらいです。

視力の発達に異常があると将来メガネをかけても十分な視力がでないことがあります。お子さんは見えにくくても、自分から「見えにくい」とは言いません。

また、片目ずつ検査をしないと「片目の見えにくさ」は分かりません。

下記の2つの検査で目の異常や“弱視”をなるべく早く見つけて治療し、発達時期に合った適切な視力が得られるようにしていくことが大切です。

※弱視のお子さんの割合は1～2%と言われており、小牧市でも同様の結果となっています。

視力検査

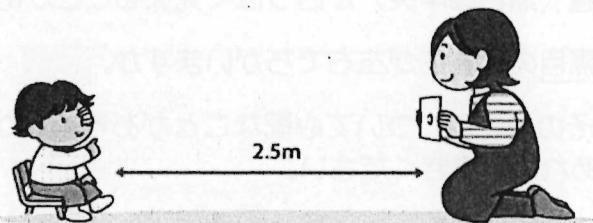
○輪を使った視力検査
○問診票記入

※ご家庭で行ってください

☆「ご家庭での視力検査の方法」をよく読んで検査を実施し、結果をQRコード（「視力検査問診票」の左上）よりご回答ください。

【検査の時の注意点】

- ①お子さんの機嫌のいい時に実施しましょう。
- ②お子さんは検査を理解するのに時間がかかります。無理せずゆっくり行いましょう。
- ③何回か練習してから検査してみましょう。



屈折検査

○測定機器での検査

※3歳児健康診査にて
保健センターで行うものです

☆視力検査だけでは目の異常を見逃してしまう恐れがありますが、この検査で視力の発達を妨げる原因がわかることがあります。

（例：乱視、斜視、近視、遠視等）



ご家庭での視力検査の方法

用意するもの

- 1 視標：ページ下の輪をそれぞれ切り取り、20cm 四方くらいの白い紙にはり、検査の視標とします。（図1を参考にしてください。）
- 2 眼帯：ガーゼまたはティッシュペーパーを5cm 四方くらいの大きさに折って、ばんそうこうまたはセロテープなどで、のぞかれないようにしっかりととめます。
- 3 距離を測るためのものさし、またはメジャー

検査の方法

- 1 楽に本が読める程度の、明るい部屋で行います。
- 2 視力検査の練習をします。
 - (1) お子さんと1mくらい離れて向かい合い、大きい輪の視標を見せます。まず、両目を開けて行います。
 - (2) お子さんに輪の切れ目の方向を指か手で示してもらるか、または図2のような輪を厚紙で作ってお子さんに持たせ、輪の切れ目の向きを合わせる方法で答えさせます。
 - (3) 輪の切れ目の方向は右、左、上、下の四方向とします。視標の向きを変えるときは必ず一度視標をかくしてから変えてください。
 - (4) 1mくらいでできたら、今度は2.5m(できるだけ正確に測ってください。) 離れて行ってください。
 - (5) 両目を開けて、輪の切れ目の方向を正しく答えられますか。
 - (6) 片目をかくす練習です。右目、左目をそれぞれかくして答えさせてください。
- 3 検査方法を理解できたら、いよいよ検査をします。
 - (1) 小さい輪の視標を使い、2.5mで行います。検査の方法は、大きい輪のときと同じように行います。
 - (2) まず、両目で検査を行います。上下左右の四方向に見せて、3方向以上正しく答えることができたなら「見えた」とします。
 - (3) 次に、左目をかくして右目の検査を行ってください。見にくそうだったり、いやがったりするときには左目から検査をしてください。両目のときと同じように判定します。
 - (4) 続いて、かくす目を変えて左目（または右目）の検査を行い、判定します。
 - (5) 結果を QR コード（「視力検査問診票」の左上）よりご回答ください。

（練習用）

（キリトリ線）

（検査用）

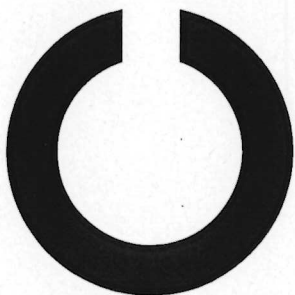


図1 視標の見せかた



図2 切れ目の答えかた

